



第 13 回
令和元年度 おおさか優良緑化賞



受賞事例集

■ 「おおさか優良緑化賞」とその目的 ■

「おおさか優良緑化賞」は、大阪府自然環境保全条例等に基づいてなされた緑化のうち、府内の都市環境の改善に貢献する緑化や、都市の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる緑化等、特に優れた取り組みを行った建築主を顕彰するものであり、建築主の施設に対する緑化意欲の向上や緑化技術の普及促進を図ることを目的としています。

■ 選考方法 ■

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会による選考を経て、大阪府が受賞者を決定。

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会委員（みどり担当） ※50音順

サスティナブル・e代表	遠藤	尚美
学校法人関西学院大学教授	阪	智香
国立大学法人和歌山大学准教授	佐久間	康富
公立大学法人大阪府立大学大学院教授	平井	規央
公立大学法人大阪府立大学研究推進機構特認教授	増田	昇【部会長】

■ 総評 ■

平成26年4月1日から31年3月末までに緑化が完了した施設の中から、特に優良な緑化事例として、本年度は6件の応募があり、全て共同住宅の新築物件でした。

昨今の新築の共同住宅は、敷地内部だけでなく、エントランス部や接道部の緑化に重点が置かれている物件が多くを占めるようになってきています。本年届出があった物件の多くも一定水準以上の緑化が導入されていましたが、そのような中で、審査委員において活発な意見交換をしながら厳正に審査した結果、知事賞を3件、奨励賞を2件選出し、残念ながら生物多様性賞に該当する物件はありませんでした。

概ね優良な緑化事例がそろった中で、知事賞に選出されたシティテラス千里桃山台と、なんばセントラルプラザリバーガーデン、リバーガーデン八尾山本は、いずれもエントランス部に限らず接道部に幅広の連続した緑地帯とともに地域住民が休憩できる装置も導入されていること。また、そこでは、自然や季節感を意識した多様な樹種の導入とともに緑量感を増すための地形造形がうまく活用されていること。さらに、接道しない面にも、周辺の公園緑地や駅へのアプローチを意識した緑化、周辺の街路樹や並木との連続性を考慮した緑化が導入されており、いずれも高く評価されました。

奨励賞に選定されたブランドシティ千里古江台とブランド天王寺国分町は、前述したようにエントランス部を中心に接道部に積極的な緑化が導入されており、一定水準以上の優良な緑化事例と評価しました。

昨今の猛暑が気象災害とも言われるほどとなり、みどりが発揮する多面的な効果への期待は益々高まっています。本賞で受賞された優良な緑化事例が今後の先導的な役割を果たすことを願っています。

部会長 増田 昇



大阪府知事賞

シティテラス千里桃山台

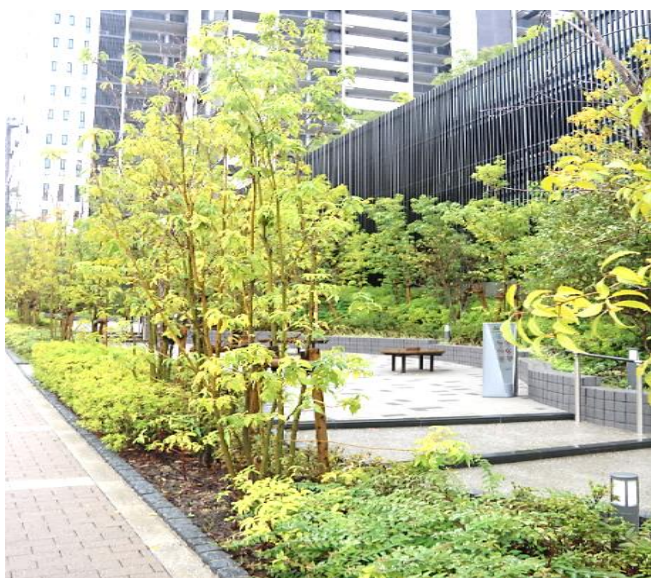
所在地：豊中市
主用途：共同住宅
建築主：住友不動産株式会社
設計：株式会社長谷工コーポレーション
建築施工：株式会社長谷工コーポレーション
造園施工：株式会社日比谷アメニス

■ 講 評 ■

本物件は、北大阪急行桃山台駅に隣接する新築の共同住宅であり、府基準に対する緑化比率が約300%とふんだんに緑が導入されています。

敷地東側の接道には連続した緑地が設けられ、隣接する街路樹との連続性を考慮してソメイヨシノが植栽されるとともに道行く人が休憩できるコーナーも設置され、周辺景観や環境に大きく貢献しています。敷地北側と東側には幅員7m以上の公開空地が確保され特に、北側の公開空地は、施設西側に隣接する公園へのアクセス道となっており、地域の方々にも四季折々の彩りが提供されています。

敷地内部の住棟間のスペースもふんだんに緑が導入されていることに加え、敷地東側に位置する立体駐車場及び共用棟の屋上部には休憩施設や散策路を伴った芝生広場を中心とする庭園が設けられており、居住者の貴重な憩いの場となっています。(増田 昇)



敷地東側の連続した緑地



隣接する公園へのアクセス道



立体駐車場及び共用棟屋上に設けられた庭園



芝生広場を中心とする庭園



大阪府知事賞

なんばセントラルプラザ リバーガーデン

所在地：大阪市

主用途：共同住宅

建築主：リバー産業株式会社

設計：株式会社日企設計

建築施工：リバー建設株式会社

造園施工：阪神園芸株式会社

■ 講 評 ■

本施設は、JR 難波駅近くに立地し、人や車の通行量の多い幹線道路の角地にあります。また、敷地内には JR 難波駅に直結する連絡路の入口もあります。

住民や近隣の集合住宅などの多くの方が日常的に施設内の緑道を利用しています。本施設の特徴であるマウンドを活用し、多様な樹種を立体的に植栽し、柔らかな曲線の導線によって、実際の緑量以上に潤いのある四季彩豊かな景観を創出しています。

また、近隣の公園や施設の緑地との調和や連続性を保ちまとまりのある魅力的な空間づくりに貢献しています。通勤や通学、散歩など日常的にこの緑道を利用される方々は、きっとほっとした気持ちになられていることでしょう。

知事賞に相応しい施設として、人や鳥が集う「都心のオアシス」として愛され、良好に管理されていくことを期待しています。(遠藤 尚美)



駅に繋がる連絡路の植栽



植栽地盤のマウンドによる立体的な植栽



多様な植栽による景観の創出



都心のオアシスとして良好に管理された植栽



大阪府知事賞

リバーガーデン八尾山本

所在地：八尾市
 主用途：共同住宅
 建築主：リバー産業株式会社
 設計：株式会社ジィ・アンド・エー建築設計
 建築施工：リバー建設株式会社
 造園施工：阪神園芸株式会社

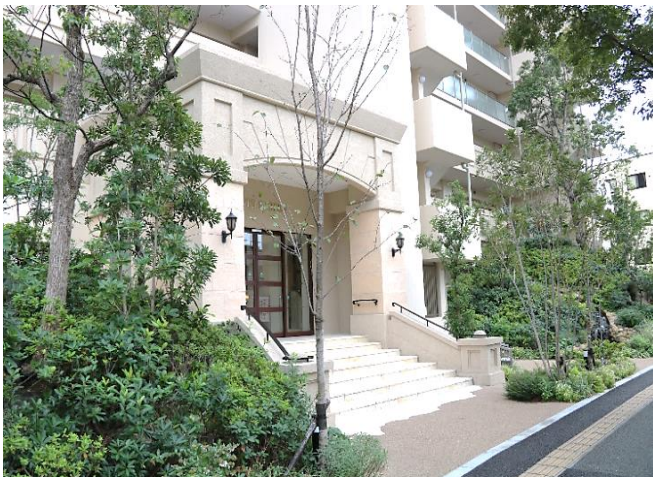
■ 講 評 ■

本施設は、近鉄河内山本駅から徒歩4分の距離に位置しています。敷地北側には大胆な緑量からなる築山が設けられ、本施設のエントランス部分を演出するだけでなく、交通量の多い幹線道路と住宅の関係を調整する役割を果たしています。

敷地西側には狭隘道路^{きょうあい}がありましたが、本施設を敷地境界から後退させ、八尾市との協議を経て水路を暗渠化^{あんきょ}しています。道路舗装の整備や隣接敷地の境界部分も緑化することで、本施設と連続する一体的で開放的な空間が整備されています。

本施設と南側の駐車場の間の緑地は、本施設と駐車場の関係を調整し、エントランスホールをみどりと光あふれる空間にする役割を果たしています。

緑化空間が効果的に演出され本施設の価値を高めるだけでなく、周辺地域にも配慮した整備がされ、知事賞にふさわしいと評価できます。(佐久間 康富)



エントランス部分に設けられた築山



幹線道路沿いに設けられた築山



水路を暗渠化し一体的に整備された植栽



エントランスホールを演出する緑地



奨励賞

ブルズシティ千里古江台

所在地：吹田市
 主用途：共同住宅
 建築主：東急不動産株式会社
 東京建物株式会社
 パナソニックホームズ株式会社
 設計：株式会社D&D建築設計事務所
 株式会社ランドスケープデザイン
 建築施工：不二建設株式会社
 造園施工：株式会社石勝エクステリア
 関西支店

■ 講 評 ■

当施設は吹田市の北部にあたり、東側には万博記念公園、西側には千里中央公園といった比較的大きな緑地の間に位置する閑静な住宅地の中にあります。敷地内の緑は豊富で、府基準に対する緑化比率は約115%となっています。

接道部には低木と高木を交えた立体的な植栽が見られ南側の緑道や北側の公園の植栽との連続にも配慮されています。中庭には傾斜を利用して豊富な樹木が配置されエントランスからの眺望が緑あふれるものとなっているほか、居住者の憩いの空間としての機能も有しています。

植栽された樹木については、クヌギ、コナラなど千里丘陵で見られた樹種を用いる配慮がなされており、消防用空地にも芝生を配置して緑地を確保する工夫もされています。木々の成長にともなって、さらに緑あふれる空間となることを期待しています。（平井 規央）



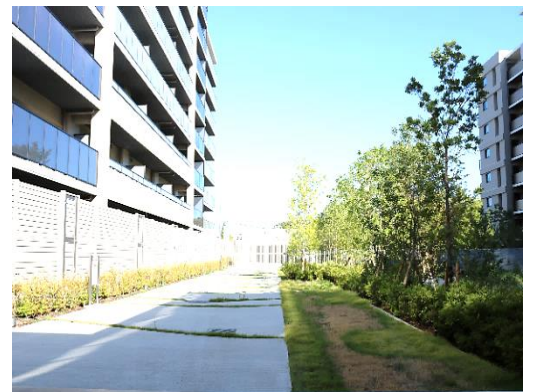
居住者の憩いの空間に配慮した植栽



傾斜を利用しエントランスからの眺望に配慮した中庭の植栽



接道部の低木と高木を交えた植栽



消防用空地に植栽された芝生



奨励賞

ブルズ天王寺国分町

所在地：大阪市
 主用途：共同住宅
 建築主：東急不動産株式会社
 設計：株式会社IAO 竹田設計
 株式会社空間創研
 建築施工：株式会社鍛冶田工務店 大阪本社
 造園施工：株式会社石勝エクステリア
 関西支店

講評

本施設は JR 環状線寺田町から徒歩 3 分の距離、JR 環状線沿いの道路と接する敷地に位置します。駅に近い敷地南西角にエントランスがあり、シンボルとなる高木とまとまった緑地によりエントランス空間を演出しています。

人通りの多い JR 環状線沿いの道路に接する敷地北東角には、通行者や居住者が滞留できる小規模なプレイロットがあり、緑地やベンチによって憩いの空間が提供されています。ここは JR 環状線からもよく見える場所でもあり周辺への配慮がうかがえます。

敷地南側、西側の接道部沿いには、帯状に緑地が配されており、沿道空間の演出と本施設内部との関係調整が図られています。この部分は階段状に起伏を設け、混植による足元緑化、要所に配された高木によって、都市の限られた敷地面積でも、緑化空間を効果的に楽しめる工夫を見てとることができます。(佐久間 康富)



高木等で演出されたエントランス空間



接道部沿いの階段状の緑地



通行者や居住者が滞留できるプレイロット



自由に利用可能なプレイロット内のベンチ

委員所感

■遠藤委員■

今回応募いただいた施設は全て共同住宅で、それぞれにコンセプトやデザインに個性があり、限られた敷地空間を最大限に活かした緑化が施されていました。また、単に住居される方へ豊かな緑環境を提供するだけでなく、周辺を通行する人や近隣の人も利用できるなど、緑の公共性を意識した施設が多く見られました。これらの緑が今後も良好に育成管理され、より豊かで美しい景観を継続されますことを願います。

■佐久間委員■

今年度はいずれも共同住宅の応募でした。郊外部では十分な緑量を確保することで周辺環境にも貢献する魅力的な緑化空間が整備されていました。一方、都心部では緑地面積は限られますが、高木を植え、緑地に起伏を設けることで立体的な緑化空間とする工夫が印象的でした。都市部で新たな公園整備は難しいため、こうした民有地の緑化が重要です。優良事例の積み重ねにより大阪府のみどり環境がさらに向上することを期待します。

■平井委員■

昨年度に続いて共同住宅の応募が多く、それぞれに工夫を凝らした緑化が施されていました。おそらく選ぶ側のニーズのなかにも緑化や周辺の緑に対する期待が高まっていることの表れかと思えます。温暖化やヒートアイランド現象など、過酷な気象条件が増えることが予想される中で、植物種の選択や灌水設備の整備に配慮され、密度の高い緑化を実現した場所が多い印象でした。今後もこの賞の選考が高いレベルで行われることを期待しております。

応募対象

顕彰実施年度の5年度前から前年度までに、緑化が完了した施設で、かつ、以下①～③のいずれかに該当するもの。

- ① 1,000㎡以上の敷地において、建築物の新築・改築・増築を行う際に緑化を義務付けており、基準に沿った緑化計画書及び緑化完了書の届出を行った施設（大阪府自然環境保全条例（以下、「条例」という。）第34条第1項及び第2項）
- ② 上記①の基準と同等以上の緑化率が確保されている都市緑地法に定める緑化地域をはじめとする他の法令の規則で定める施設（条例第35条第3号）（敷地面積1,000㎡未満の施設は除く）
- ③ 上記①と同等以上の効果が得られるものとして、知事が認める内容を有する条例を制定している市町村については、当該市町村の緑化に関する条例に基づく届出などを行った施設で、その条例の基準を満たすもの（条例第38条）（敷地面積1,000㎡未満の施設は除く）

選考基準

- ① 条例の基準を大幅に超える緑化が行われているもの（視覚的な緑量の確保など）
- ② 建築物や周辺環境と調和した緑化が行われているもの（建築物とのバランス、周辺の景観形成への寄与度など）
- ③ スペースを有効利用しているもの（緑化空間のデザイン性、配置の工夫）
- ④ 新技術を積極的に採用しているもの（先進技術の導入、技術面での工夫など）
- ⑤ 適切に維持管理されているもの（管理体制、管理設備など）
- ⑥ 生物多様性に配慮されているもの（生物多様性への配慮の有無）

選考方法

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会による選考を経て、大阪府が受賞者を決定

応募方法

6月頃から8月頃の間に応募の受付を行っております。（詳細は下記のホームページをご覧ください。）

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/ryokkaseido/ryokkashou.html>

おおさか優良緑化賞

検索 

国連では、2030年までの国際目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」が2015年9月に策定されました。

本事例集は、SDGsに掲げる17のゴールのうち以下のゴールの達成に寄与するものです。



大阪府では、SDGsの推進を図り、SDGs先進都市をめざします。



環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 TEL 06(6210)9558 / FAX 06(6210)9551
メールアドレス midorikikaku@sbox.pref.osaka.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.osaka.lg.jp/midorikikaku/>